

6月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に必要なルールや約束事を守る大切さを知り、意欲的に活動を進めていく。(あいさつ、手洗い、歯磨き、交通ルール。) ・梅雨期の自然に親しみ関心を持つ。(あり、かたつむり、あじさいなどの小動物や草花に触れる。)
-------	---

クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から気温が高い日もあったが、涼しい時間帯になるべく外遊びができるよう声をかけ園庭遊びを楽しんだ。ひょうたん鬼や形鬼などルールのある遊びを好んで楽しみながら体を動かす姿も見られた。タイムタイマー等を使い時間を気にしながら行動する子も増えていった。テーブルだしなどの係活動も 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑く、湿度が高い日が続くので朝は戸外で遊び、活動は室内で運動遊び、集団遊びを楽しむ。勝ち負けにこだわり、勝負事を楽しむ子、まだ勝ち負けにこだわりなく、のんびりしている子、ルールを理解するのに時間のかかる子と様々な姿が見られる。今はまだぶつかり合う事でお互いの気持ちを伝え合い、ルールのある遊びを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温や気候に合わせて水遊びなどの活動を取り入れていった。その中で、子どもの姿から遊び方を発展させたり、イメージを形にするために保育者がより良い方法を考え提供していったりしていった。 ・身の回りのことを自分でしようしたり、自分の気持ちを言葉で表現しようしたりする姿が増えてきている。
自己評価を踏まえての改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・静と動を意識しながら活動を行っていったが、散歩に行けなかったり、予定通りに行かないことも多かった。その日のこどもの様子を見ながら、活動の流れを組み立てなおしたりしながら、メリハリのある生活をしていく。暑さも厳しくなってきたため体調管理をしっかりとしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のんびりしている子やルールを理解できていない子が目立ってしまうので、繰り返し繰り返しルールを伝え、のんびりしている子にはタイムタイマーを使い少しずつ時間を意識出来るようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びへの興味が高く、進んで準備する様子がある一方、友達との物の貸し借りでのつまづきや約束事を守れない姿もある為、活動の前には約束事をその都度振り返ったり話に興味を持てるような工夫をしていきたい。
保護者と地域への子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給(水筒)の準備を忘れずに行ってもらうこと。プール遊びに向けての体調管理や爪を切る等の準備等をお願い。 ・不安等相談がある家庭との個別の面談。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール、泥んこ遊びが始まるので準備物等のお知らせ、お願いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で子育て方法を工夫している保護者の姿や家庭での子どもの後ろ向きな姿に対する不安感などを受け止め、より良い子どもの育ちについて共に考える関わりをしていった。 ・水遊びの様子を伝える中で子どもの現段階の成長や持ち物のお願いを伝えていった。
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組)	0歳児(つぼみ組)
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い日が続く、体調不良で休む子が多くいたこともあり、室内で過ごすことが多かった。なかなか戸外に出られずにいたが、動から静への活動の流れを意識し、室内でも遊びを工夫しながら過ごす。巧技台サーキットを設定すると自分でやってみようとする姿が沢山見られた。時々不安そうな表情を浮かべている子へは手を貸したりしながらサポートをしていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・急な暑さもあり室内で過ごす事が多かった。その中で2歳児クラスとホールで合同で遊ぶ機会があり、2歳児の姿を真似てやってみようとする姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩くことができるようになった子が増え、靴をはいて歩くことに挑戦している。靴に違和感を感じていたが、くり返し散歩することで歩けるようになってきている。又、戸外で砂や葉、石などに興味をもち触れようとする姿が見られる。口に物を入れ感触を確かめる姿が増えてきている為、誤飲などの危険がないように注意を払っている。室内でも玩具の大きさを意識しながら環境を設定している。
自己評価を踏まえての改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・動から静への活動の流れを意識し進めていく。イライラしている子や遊び込めない様子の子には保育教諭が人的環境となって遊びの盛り上げ役になり、遊び込めるような環境づくりをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や活動でも自分で「やってみよう」という姿が見られてきているので、その姿を大事しながら安全に気を付けて傍で見守ったりしながら対応してしていきたいと思う。□ □ □ 	<ul style="list-style-type: none"> ・口の中に入らない大きさの玩具や、噛んで感触を確かめる事を楽しめるような手作り玩具等を準備していきたい。又、指先を使いながら遊ぶ姿も増えてきている為、楽しみながら指先を使い発達を援助できるようにしていきたい。 ・口に入りそうな玩具は手の届かない所に片付け、安全な玩具だけ手が届くような環境設定を心掛けていきたい。
保護者と地域への子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園での排泄の様子をお帳面や口頭でお知らせして、家庭でも同じペースでトイレトレーニングを進めていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・急な暑さもあり体調を崩す姿が見られた。細目に水分補給をしながらお帳面や口頭で体調の様子を伝え、家庭と一緒に体調管理に気を付けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沐浴や水遊びが始まるため、皮膚疾患や体調の変化をこまかくやり取りし、個々のペースで始めていけるようにする。 ・気温が上がるため、水分補給や休息をとり無理なく生活できるように保護者と連帯をとっていく。